

## 大野支所建替え位置に関する資料

## 1 建替え候補地選定の理由

大野支所の建替え候補地とした、現在地及び筏津地区の2箇所については、利便性、利用可能な市有地の有無などを踏まえ選定した。なお、大野浦・前空・宮島口のJR駅周辺やその他の場所については、利用可能な市有地がないことや大野地域の距離的なバランスを考慮すると、適当な場所がないと判断した。

現支所は、昭和37年に下の浜(旧6区集会所)から移転し、これまで旧大野町の行政や住民活動の拠点として、定着していることから現在地を候補地とした。

また、筏津地区は、旧大野町が福祉・文化ゾーンとして、施設の集積を図っており、大野地域の多くの住民に親しまれている。更に支所が加わることにより行政サービスのワンストップ化が図られ、住民サービスの向上につながるかと判断し候補地とした。

## 2 建替え位置比較表

項目	現在地	筏津地区	備考
所在地	大野一丁目1-1(6区,7区の間)	筏津1328(5区)	
敷地面積	11, 223㎡	26, 237㎡	筏津はゾーン全体の面積
用途地域	近隣商業地域	第一種住居地域	
他の施設等	消防署、商工会、福祉売店、備蓄倉庫	福祉保健センター、体育館、図書館、市民センター	
駐車場	53台	40台(別途 共有215台)	
基本条件	<ul style="list-style-type: none"> <li>・半世紀にわたり大野町の行政・防災の拠点として中心的な役割を担ってきた。</li> <li>・支所へのアクセスは、基本的に車であるが、大国滝の下線の完成により、道路事情は良好である。</li> <li>・公共交通手段は、ハートバスである。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・福祉・保健・文化スポーツの拠点であり、大野地域の市民活動に深い関わりがあり日常的に集う場所である。</li> <li>・アクセスは、基本的に車である。</li> <li>・公共交通手段は、ハートバスである。</li> <li>・行政サービスのワンストップ化で市民サービスが向上する可能性あり。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・筏津地区は、西側からの道路が一部狭小で、課題がある。</li> <li>・大野地域の住民の約85%が国道の山側に居住している。</li> </ul>
利便性(アクセス)	<ul style="list-style-type: none"> <li>・大野支所の利用者数は年間約1万2千人(1日当り50人程度)</li> <li>・ハートバス接続(上り15本、下り18本)</li> <li>・JR大野浦駅まで約1.3km</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・筏津地区の利用者は、年間約27万人(1日当り約750人)</li> <li>・ハートバス接続(上り21本、下り22本)</li> <li>・JR前空駅まで約1.8km</li> </ul>	
防災の拠点性	<ul style="list-style-type: none"> <li>・大野消防署、備蓄倉庫は支所と同一敷地内であり連携しやすい。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・大野消防署、備蓄倉庫からは離れるものの、防災拠点(支所)と敷地内の避難場所・施設と連携しやすい。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・大野支所は、大野地域の防災拠点である。</li> <li>・福祉保健センターは避難場所、体育館、図書館、市民センターは大規模災害時避難場所に指定されている。</li> </ul>
サービス業の立地	<ul style="list-style-type: none"> <li>・周辺に銀行、コンビニ、医療機関、飲食店、ビジネスホテル、ホームセンターなどサービス産業が集積している。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・周辺に民間の商業施設はほとんど存在しないが、近隣の大野中央地区には、コンビニ、スーパー、ドラッグストアなどが点在している。</li> </ul>	
土地活用可能面積	<ul style="list-style-type: none"> <li>・約4,500㎡(現支所正面側へ建替え、解体後、利用可能な面積。商工会利用部分を除く。)</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・約9,000㎡(現支所移転解体後、現在地の跡地利用が可能な面積。消防署・商工会利用部分を除く。)</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・このほか旧別館敷地あり。(1,067㎡)</li> </ul>
地域活性化の可能性	<ul style="list-style-type: none"> <li>・利用可能な土地面積が限定的で、地域の活性化に向けた大規模な賑わいづくりは困難。</li> <li>・ほぼ現状維持。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・広くまとまった支所跡地を利用することが可能で、大規模な賑わいづくりが可能。</li> <li>・コト起こし。地域活性化の起爆剤。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・現大野支所は、宮島と岩国を結ぶ国道2号に沿い、大野ICに直結している。</li> </ul>